

わくドキくらぶ

和太鼓

10月～11月にかけて4回にわたり、年中・年長を対象として和太鼓の「わくドキくらぶ」が行われました。タラ太鼓道場より、たくさんの先生に来て頂き、まずは先生方の演奏を聞かせて頂きました。



すごく力強く、子供たちの胸にも鳴りひびく太鼓の音。

もともと太鼓は、お母さんの心臓の音に似ているともいわれ、赤ちゃんや子供にとってお母さんのお腹の中を思い出す大好きな音とも言われているそうです。

幼稚園にもたくさんの太鼓が用意されていますが、毎年たくさんの子供たちが希望するため、くらぶが始まる前に、お母さんと一緒に自分だけの太鼓とバチを箱や新聞紙で使って作ってくるという課題があります。



今回も男の子はカッコよく、女の子はかわいい素敵な太鼓とバチを用意していました。



まずは曲を太鼓でたたく前にそのリズムを歌に合わせて楽しく覚えていきます。それを体にも覚えさせるために、全身を使ってみんなで踊りました。

リズムが完全に覚えられると、次は太鼓を使って実際に打ってみました。リズムが完璧になると太鼓もしっかりと打てるようになっていました。

本物の太鼓を使えない時間は、自分たちが使ってきた太鼓を一生懸命打つ子供たち。はじめてやる年中さんに比べ、さすがの年長さん。力強く、その迫力に驚きました。



最終日には、1曲を通して子供たちがお母さんたちの前で披露してくれました。



和太鼓にむかう姿勢もとてもしっかりしていて、子供たちの無限の可能性を感じた楽しい「わくドキくらぶ」になりました。